

2 環境部

(1) 環境部の取組

○ノート作り用の掲示物作成

学習指導部によってノートの取り方が検討され、学校で統一された。そこで、板書が児童に見やすく、行っていることが明確になるように黒板に貼る掲示物を作成した。(H26より継続)

○発表用ホワイトボードの作成

児童が自力解決した考えやグループやペアで話し合った考えを全体に広める際、授業で使用するホワイトボードを作成した。(H26より継続)

○各教室での算数コーナーの設置に伴う掲示物の作成

今年度より、各教室に算数コーナーを設置した。どの教室でも、同じ場所に既習事項と友達の考え、授業の流れ等を掲示した。

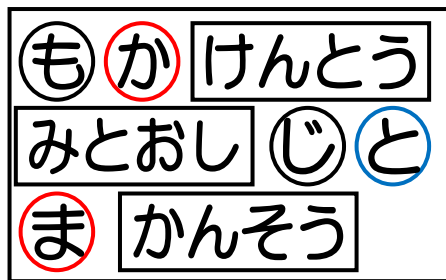
○算数ヒントコーナー用ホワイトボードの配布

自立解決の際、ヒントコーナーで使用できる大きめのホワイトボードを学年2枚配布した。少人数の児童を集めて指導する際に使用した。

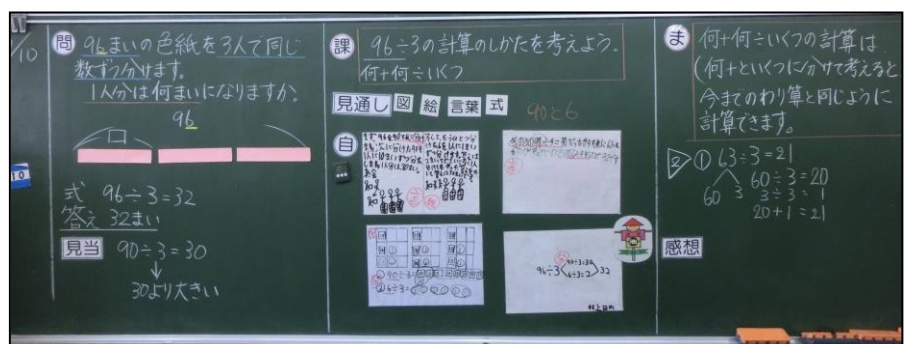
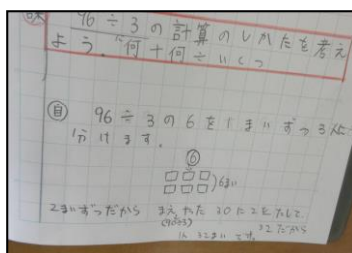
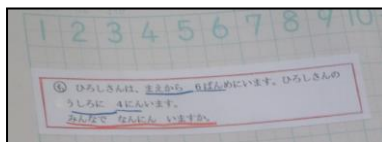
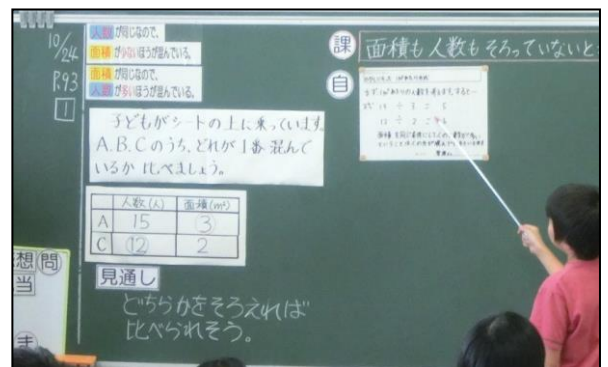
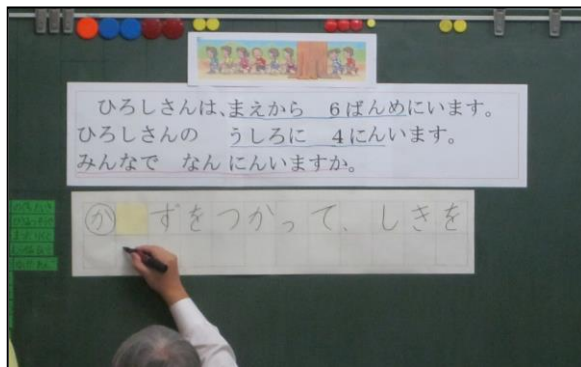
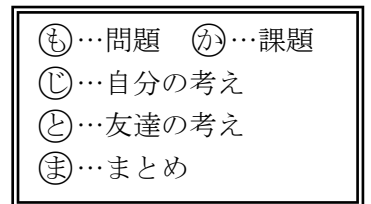
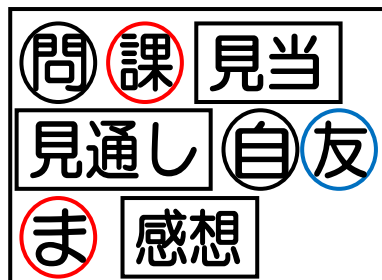
(2) 具体的な取組

〈ノート作り用掲示物〉

○低学年用



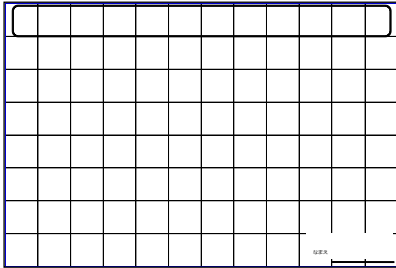
○高学年用



〈発表用ホワイトボード〉

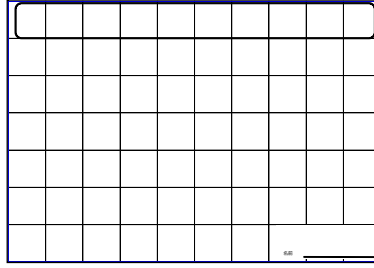
○低学年用

低学年は算数ノートと
同じマスの数にして使用



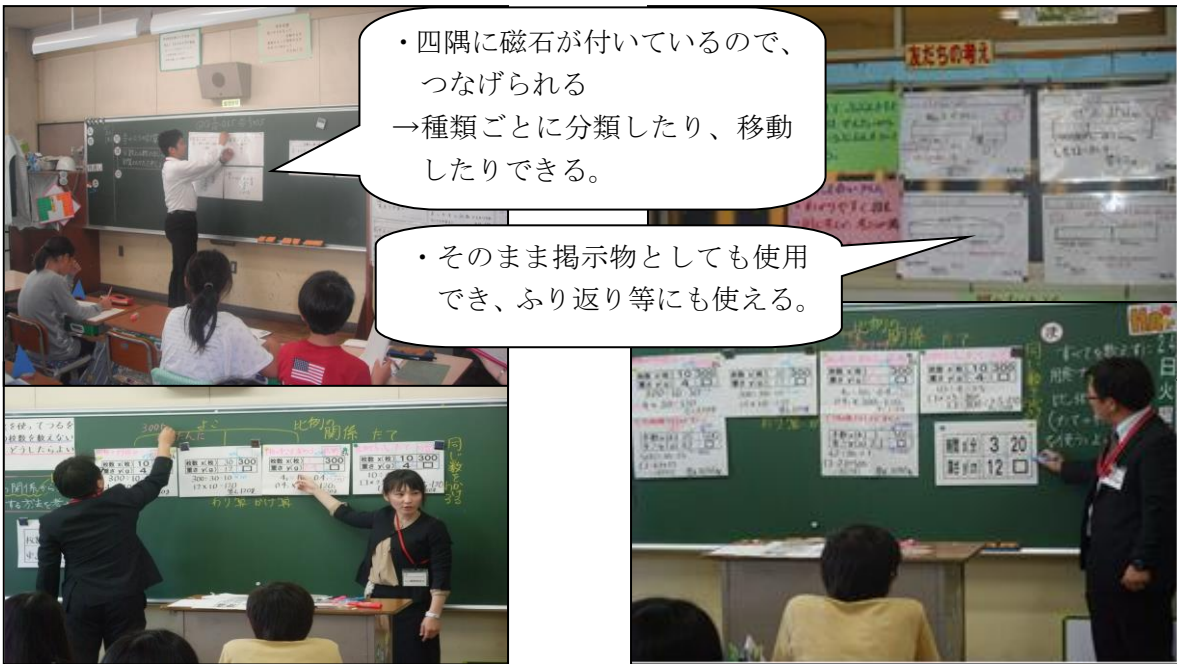
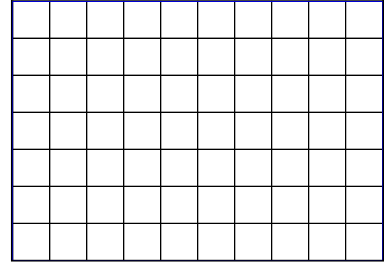
○中・高学年

マスを考えて使えるので、
書きやすい大きさで使用

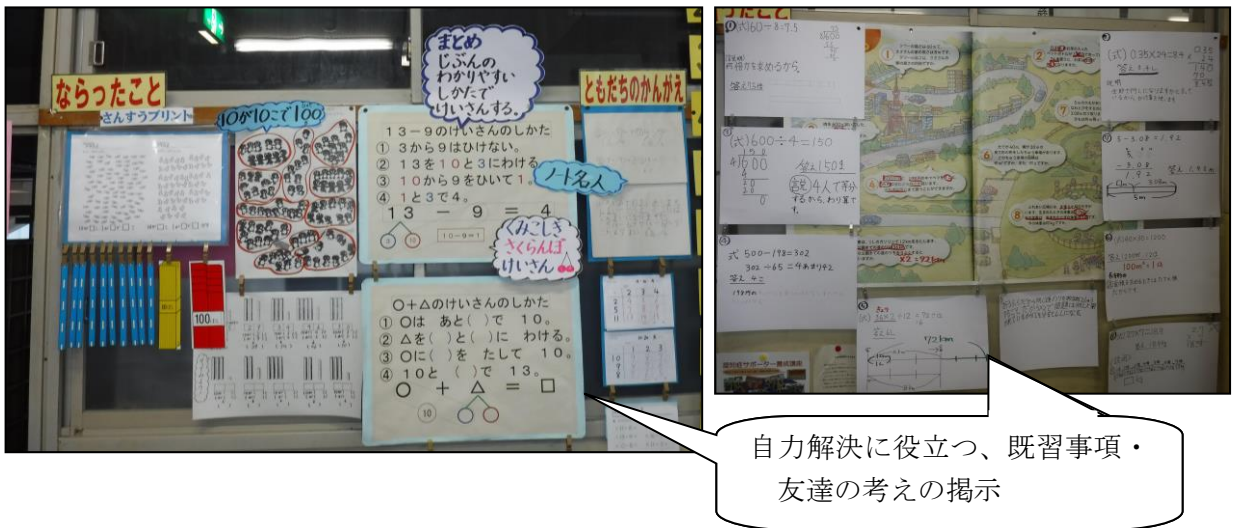


○裏面

マス目のみで表やグラフなど
様々な単元で使用可能にした

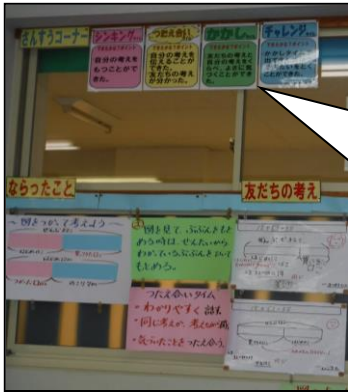


〈算数コーナー用掲示物（既習事項）〉




〈算数コーナー用掲示物（学習の流れ）〉

教室での掲示例



見通しをも
って取り組
めるよう授
業の流れの
わかる掲示

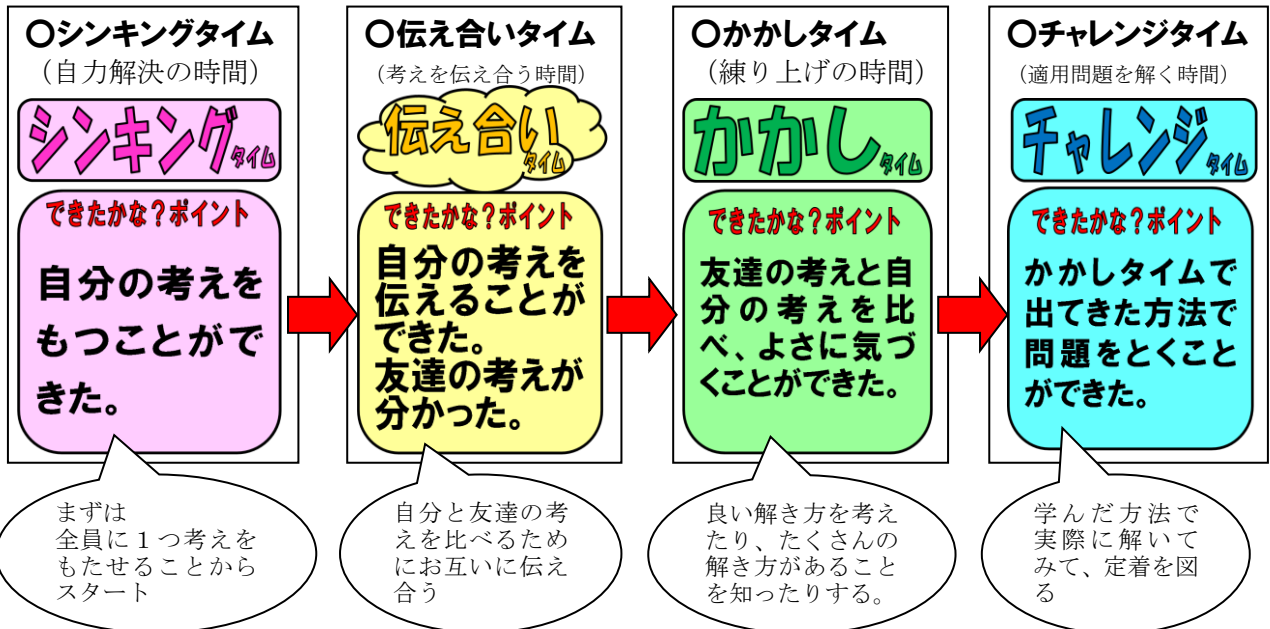


自力解決や
練習の観点
いわかし

○いつでも使える ○分かりやすい
○かんたん ○かくじつ
○知っている方法で

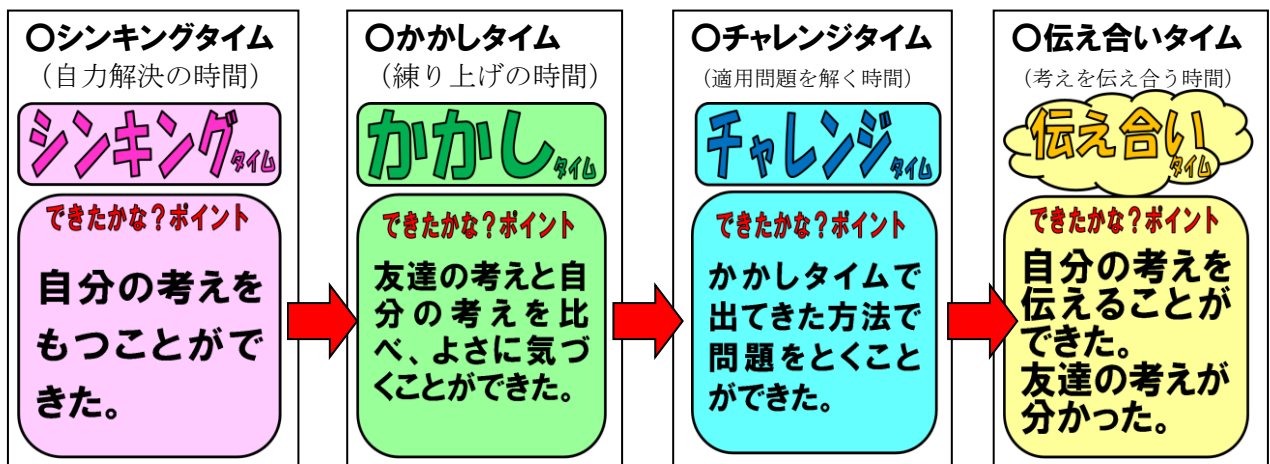
流れの例 ①

シンキングタイム→伝え合いタイム→かかしタイム→チャレンジタイム



流れの例 ②

シンキングタイム→かかしタイム→チャレンジタイム→伝え合いタイム



伝え合いタイムは単元や内容によってチャレンジタイムの後に位置づけることもある。

〈ホワイトボードによるヒントコーナー〉



(シンキングタイム) 自力解決ですぐに考えを思いつかないときにヒントコーナーで考えるきっかけをつかませる。



磁石もつくので掲示物も貼れる。ホワイトボードなので、書きこみが自由にできるので、分かりやすい。

(3) 成果と課題

〈成果〉

- 板書の書き方を常に同じ形式にすることで、授業の流れが定着し、児童が見通しをもって学習できるようになった。
- 板書が整理されることで、ノートの書き方を統一でき、子どもたちのノートも見やすくなった。既習の振り返りに活用できるノートになってきた。
- 算数コーナーにより、算数に対する関心が高まった。
- 算数コーナーの設置により、既習の内容を使って課題に取り組む様子が見られるようになった。また学習の流れを掲示することで見通しをもって授業に取り組むことができた。
- ホワイトボードを算数コーナーに掲示することで、友達の考えを知ったり、学習への意欲を高めたりすることができた。
- ヒントコーナーは、少人数で児童を集める際に有効であった。(消したり、貼ったりが自由にでき、繰り返し使えてヒントが出しやすい。)

〈課題〉

- 教室だけでなく学校内の環境を工夫することで、より算数に親しみをもち関心を深めることができるようにしていきたい。
- ヒントコーナーのボードの使い方については、より有効に使う手立てを研究していきたい。